

日三十月三



定額一圓五角... 發行所 常警日新報社... 印刷所 常警日新報社

シナリオ 狸湯の仇討

原作 江見水蔭 脚色 木津茂太郎

【五】

お照半三郎の前に坐す 敵討 坐つてゐるお照。 青春とは... 冷たい男の心をじつと 白眼視してゐるお照。 貴郎がそのやうに冷たい お心なら、わたくしも また私で考へやうが 御座います。 半三郎。何、考へやう とは。と聞く お照。 一体貴郎はあの三人を 何故、お避けになるの 半三郎。 實は借財があつて— 笑ふお照。 そんなことならば、高 はどれ程か知れませんが 母にさう申しまして 半三郎打明ける。 おどろいてゐるお照。 御本望お遂げなされた 上は此様な者でもお見 捨なく。 半三郎。 命あらば御身とめうとの 固め致そう。

お照喜んで部屋を出て ゆく。 翠朝。 お照三人の武士に酒を すゝめる。 心祝ひが御座いますか ら...

金網の焙 じ器にデ カに番茶 を入れて焙じると往々焦 げ臭くなるが、紙を敷い て焙じると失敗がない。

三人。美しいお照に酌 されて大喜びでした、 か酔ふ。 三人は好い心持になつ て、 出立を延ばさう、ゆつ くり呑みつゞけやう。 別に急がぬ旅ちや。 當分滞在致すとしやう お照しばらくして座を 立つと、もう歸つて來 ない。

お照の代りに山出しの 女中が出る。 貴様では駄目だ。娘を 出せ! 亂暴の三人は暴れ出す お照を出せ! 三人。 娘お照を出さぬか!! 三人。 家探しをするからさう 思へ! 千鳥足で三人は勝手

方から探し初める。主 婦は三人をなだめよう とするが、肯くものでは ない。客の部屋を一 々探し出す。 二階に上つてゆく。 此處が怪しい! この部屋に相違ない! 伊羅伴助ガラリと障子 を開ける。 身仕度をして立つてゐ る瀬川半三郎。 野袴の股立を高く取り 白襟、白鉢巻。 三人とも非常におどろ く。 酔ひもさめかける。 半三郎叫ぶ。 珍らしや伊羅、梶倉、 輪貫の三人。

明日の献立 朝にしめなまふご ぼう 人參 晝萩の餅—つぶしあん きなこ ごま 晩かき豆腐—うすくす あんかけ おろし生 姜 拙者は瀬川半三郎だ。 父清太夫の冤を雪ぎ、 無念を晴らす。東光寺 の空地へ參れ! 伊羅伴助。 青二才。返り討といふ 事を知つて居るか!

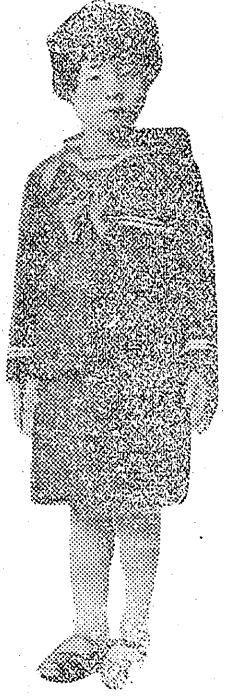
外科 門專 X 科線光 上田外科病院 平町南町 電話一二九番

金銀高價買入 平町二丁目(三幸堂跡) 根本時計店 電話六〇七番

咽喉科専門 山内醫院 平町田町七〇番地 醫學士 山内亨吉 電話六九一

耳鼻咽喉科専門 氣管食道科 大和田醫院 平南町(電話一七〇番)

第二小學校 制服 新學期も近づきました お嬢ちゃんの御通學に 運動に理想的な... 當店特製の第二校制服 をお奨めします 生地。裁縫共に充分吟 味して御座います 上紺サージ製(スカート共) 3圓60錢より



ふかや洋服店 平二 電203

産婆、看護婦 生徒募集 今、入學の好時期... 御希望の方は至急御申込みを... 新學期は四月八日より 平南町 産婆學校 校長 清野 清子 電話三〇七番

吉田眼科病院 平南町、電話六八番

玉屋洋品店 平町田町通電話五五六番

月曜是非

誤れる愛校心

警中卒業生の一部の者が橋本校長に不信任的態度を標榜してその辭職を迫つたといふが如き報導が昨今の新聞紙上に可成り大きく取扱はれた。

一家庭にさへもたまには親子の衝突もある、二百人以上もの卒業生の中には十人十色、種々雑多の者があつて、其内の幾人か校長と角突き合ひを演じたからといつて、飛耳長目に價ひする程大問題とも思はれない、たゞ而し、それが九牛の一毛の微動であつたとしても、恩師に對する此の踏み付けにした行爲は、甚だ不快なものであり、且つ君等の此の行動が當然である

と肯定の出來ぬ意味に於いてこそ、問題として取り上げる價值がある。第一に君等が自己の行動を愛校心の發露と宣信して居る事が大それた誤りの斷定である。母校に物議を醸したり、問題を惹起したりして、學びつゝある後輩に迄も動搖を波及せしめる事が、『愛校心』などといふ美名に依つて塗り潰せる行動であらうか。

また生徒のリンチ事件や其他職員私行に亘る問題等は、學校對同窓會間の善處的責任感に依り徐々に氷解しつゝある。君等が此際數から棒に飛び出す事、同窓會の事態靜觀を願ふ。

のであり、同窓會の存在を無視せる行爲である。二三職員の移動を憂慮する

君等が卒業證書を握つた事に鬼の首でも取つた積りであるかも知れぬ、至極結構なよい氣持である。而し君等は學校の人事上に關して容喙をさしはさむ權能を持つた譯ではないのである

吾人は君等の今度の行動に依つて君等を徒に非難したくない、何故とならば君等は未だ純情豊かな青年達である、故に一團に思ひ込んだ事を是であると信じ切つて馬車馬的に進んだに過ぎないからである、君等は信念に殉死するの勇氣の前に、事を決したのであつて、夫れが善いか悪いか等との思慮の持ち合せがなかつた迄である。今になつては必らず反省して居る事であらうと思ふ、故に吾人は此れ以上多くを云ふの必要がない、ただ人事上に關するが如き校内の最も機密に屬すべき事柄が校外に洩れ

一毛作獎勵

各村の試作地に

擔任者を選定

石城郡農會では農村の一毛作獎勵の爲め各村に試作地耕作擔任者を選定中であつたが今回の如く決定した

平窪消防協議 石城郡平窪村消防組では本日午後一時より同村小學校に於いて幹部會を開き本年度豫算及び近頃は行はれる平窪管内消防點呼等に就き協議した

是は意外!

入學願書少し

警中警女にも

定員を越すこと僅か?

警城中學校及び警城高等女學校に於ける本年度入學願書締切は後二日に迫つて居るが本日迄の志願者數は警中百六十四名、警女百七十六名にて兩校共昨年の同日

に比し五六十名宛少なく此の分では警中二百五十名、警女二百名の定員を越す事僅かではないかと見られて居る

匡工一段落を告げ

今度は請負業者へ

郡内七ヶ所に亘り

来る十八日に入札

既報平土木監督所管内の災害復舊土木工事は匡救工事開始の爲めに延期されて居たが此程匡救工事も大体一段落を告げたので来る十八日午前十一時より同所内で

道路四、河川二、護岸一計七ヶ所の災害工事入札を行ふ筈であるが暫らく振りの請負工事なので平町の請負業者は非常に期待して居る工事箇所左の如くである

といふ一事が甚だ面白からざる現象であり、此の一省を望んで一先づ筆を擱く

(道路)上三坂平線、好間村字枝木澤地内、平菅波線、夏井村字山崎地内、小野新町平線、下小川村字光平地内、四倉小野新町線、平窪村字大澤地内、(河川)夏井川平窪村字後川原地内、仁井田川、大野村字安手口

(海岸)小名濱町字古港、四倉漁業役員、石城郡四倉町漁業組合では去る九日組合事務所総會を開き幹部役員の改選を行つた結果左の如くである

欠食兒童が減少

川部村山間部落が

匡救事業のお蔭で

石城郡川部村小學校は山間部落中に欠食兒童が最も多く一時は四十名以上に及んで居たが最近では匡救事業のお蔭を蒙り二十名位に減じた由

卒業記念に 警城高 手洗場寄附 等女學校に於ける本年度卒業生百七十六名は據金して卒業記念に生徒控場にコンクリート製の手洗場を建設寄附すべく目下工事中であるが二三日中に出來上ると

川角選手

再び優勝

OB卓球試合

既報第四回部下OB卓球大會は昨日午前十時半より常磐銀行平支店樓上に於て開催されたが川角選手は三十餘名にて夫々大接戦を演じ左の戦績に依り常磐銀行平支店勤務川角豊太郎氏が再び優勝し榮ある優勝カップを獲得した

飯野自力更生 石城郡飯野村農會主催の農村自力更生映畫會及び講演會は十日午後六時より同村小學校にて行はれた

Table with 2 columns: 準々決勝, 準決勝. Lists names and scores for various matches.

回人を求める方 女中、五十才迄、尋卒、給料面談(平町某) 離夫、三十六才迄、尋卒、月十圓位(小名濱町某) 卒、賣上の二割給(平町某)

美味! 芳醇! 市原醫院 電話一四番

宗正らひた

山崎合名會社 電話一〇番

決闘二名が惨死

▽竹槍と松丸太で

▽互ひに渡り合ふ

平區裁判所中島判事及び小林検事は本日午後十時十八分列車にて桑名書記、藤沼醫師と共に双葉郡廣野村大字上淺見川へ急行したが事件は昨日午後五時頃同村字小松三十二番地農根本末吉(三)方に同村農齊藤傳吉(三)が訪れ農仕事中の根本と些細の事から喧嘩となり同村堤附近に於て一騎打をやらうと一先づ別れ同八時頃根本が松丸太を持つて堤附近に來た處既に齊藤は長男重勝(三)と共に竹槍を携へて待ち構へ居り互ひに渡り合ひ齊藤は根本の爲に強か毆打され其場に即死し長男重勝は重傷を負つて今晚二時頃死亡犯人は直ちに逮捕された

難局を打開して

新興日本を建設

けふの女青幹部講習會

時局に關する決議

石城聯合女子青年團幹部講習會は本日午前十時より平第二小學校講堂に於て開れたが折柄の降雪を突いて集る會員四百名に及び先づ副團長佐藤一氏の開會の辭に始まり團歌合唱、會旨奉讀及び左の如き宣言決議をなし内村馨女教諭の『私共の家庭』及び帝大教授深作安文博士の『現代と婦人』と題する講演あり午後三時盛會裡に閉會した

今や我が國の情勢は内外共に非常の難局に直而して居ります、此の秋に當り我等女子青年は益々修

建設に邁進致します。

不慮の死を

傳へられた

小松少尉から音信

既報奉天で自動車事故の爲め不慮の死を遂げたと誤報された磐中第三十回卒業生石城郡小名濱町字松の中六十七番地歩兵少尉小松主税君は目下奉天靖安遊撃隊東大營第二軍機關銃隊付として活動して居るが本日恩師廣田徳行教諭に對し『先日は色々御心配を掛けました誠に申譯ありません、今後は先生の御説の通り死んだ積りで充分なる働きをなす覺悟です、何卒御安心下さい、委細は後便にて』の通信を寄せた

震災地義捐金は

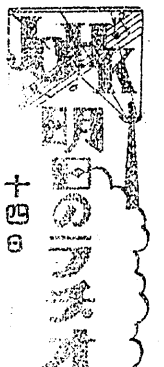
届出をお早く願ひます!

現在二百六十九圓餘

既報平町役場で取扱つて居る三陸地方救済義捐金は目下各區夫々募集中であるが既に届出を了したのは第四區の八十一圓二十錢第二區の六十五圓十錢第六區の六十圓及び愛國婦人平委員區募集金六十二圓三十錢を合

磐女卒業送別

磐城高等女學校にては來る十六日午後一時より本年度卒業



今晩も明日も北西の風曇り小雪模様

今晚の部

- 後六、〇〇 子供の時間 合唱 文化學院女子部合唱團、指揮渡邊シロー
- 後八、〇〇 獨唱とヴァイオリン 獨唱奥田良三、ピアノ獨奏園田清秀、生
- 後八、〇〇 浪花節(讀切) 連續「清水次郎長」玉川勝太郎
- 後九、三〇 時報 全國ニュース 氣象通報 番組廣告

けふ十三日會で

深作博士が講演

平町十三日會及び石城郡教育會は聯合して本日午後七時より丸友ホールに例會を開くが今回は特に文學博士深作安文氏を招いて『個人主義より人格主義』と題する講演を傾聴すると

衣類寄附

其後も續々

三陸地方への自發的な市民の物品寄附は連日平町役場に續出し其後も二丁目中野洋品店三丁目大黒屋洋品店等よりいづれも衣類二包北目八六の安田テウさんから一包、南町三六山下ツルさんから二包等がウツ高く積まれて居る

若者悲觀家出

二丁目花澤(三)は去る八日小野新町貸座敷業小西樓の養女黒澤義江(三)と夫婦になれぬのを悲觀して親の

明日の部

- 前九、一〇 料理献立「蠟サラダ」朝倉長吉
- 前一〇、三〇 家庭講座「海の話」土井正中
- 後〇、〇五 箏曲 那蒼生子
- 後二、〇〇 家庭大學講座「國文學を通じて見た日本の女性」六 池田龜鑑
- 後五、三五 少年少女職業指導講座「一般商業使用人になるには」横山惠
- 後六、〇〇 子供の時間 お話「金」植村葵己男
- 後七、三〇 講演「國民融和に就て」内務大臣男爵山本達雄
- 後八、〇〇 義太夫「傾城戀飛脚(新口村の段)」豊竹團司、豊竹小庄
- 後八、三〇 詩吟 山田積善外
- 八、五〇 浪花節(讀切連續)「伊達の三次」東武藏

玉川から

剣道武者修業

石城郡玉川村實業補習學校生徒三十餘名は去る十一日より十七日迄猛烈な剣道練習を行つて近く各農村補習學校に遠征する事になつた

平裁判たより

- 石城郡内郷村大字平太郎四十二番地園谷彌五兵工方日雇朴慶植(九)は去月一日内縁の妻千代子と夫婦喧嘩の未傍らにあつた「ナツタガネ」を以て毆打し全治約十日間を要する打撲傷を與へ傷害罪として罰金三十圓
- 同郡小名濱町字西町二十六番地築造職齊藤萬吉(三)は去る一月十四日吉田竹松
- △胡摩澤一二二 中井慶喜 氏二女いわ
- △白銀町一 海野義雄氏 二男次男
- △四丁目五九 渡邊順氏二男昌洋
- △仲間町一三 渡邊松治氏 三男光男
- △五丁目六 若松正一氏長男富美雄
- △揚土臺二四 當時東京市豊島區雜司ヶ谷四ノ六五四 南宥拙氏長男宥幸

平町人事

回出生

- △胡摩澤一二二 中井慶喜 氏二女いわ
- △白銀町一 海野義雄氏 二男次男
- △四丁目五九 渡邊順氏二男昌洋
- △仲間町一三 渡邊松治氏 三男光男
- △五丁目六 若松正一氏長男富美雄
- △揚土臺二四 當時東京市豊島區雜司ヶ谷四ノ六五四 南宥拙氏長男宥幸

茶室新書

【禁轉載上演及映畫】

悟道軒 圓玉演
近藤 紫雲畫
佐々木 見山

第二百八十九席

美人にお酌を頼む

飛鳥山の花見に松崎采女渡邊金彌がうつくしい若い女の一群を見てそれへ来たが金『御婦人打揃つて櫻狩にまゐつたかな』

と云はれて廿二三になる仇めいた女が

女『ハイ、今日はお花見に参りましてございます』

金『それに居るはあなたの妹御か』

女『左様でございます』

金『お二人とも美しいナ、花もはぢらう艶なる姿櫻はうつくしいが物を云ふことはならぬあなた方は物云ふ花、どうぞ一盃頂きたい』

女『失禮ではございますが一つ差上げませう』

と盃を小菊の紙にて拭ひ渡邊金彌にさす

金『有難い、これはあなたの想ひがしだ、忝なく頂戴いたす、しかし此處に居るは拙者の朋友だこれへもお酌を下さるやうお願ひ仕る』

と云ふとこの女に従いてゐた五十六になる色の黒いどんぐり眼の胡摩鹽をまいたやうな髯をモテくと生やした男が

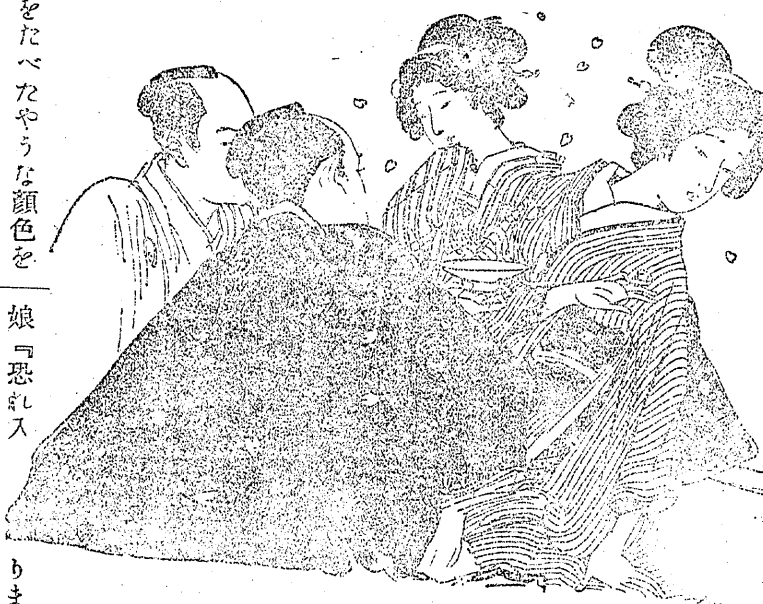
老『旦那方へわたし、一ツ松『貴様には用はない、イヤ御婦人一ツお盃をいたさく』

と茶碗を出した松『コレ何をやる、貴様のやうなむさい者から盃を貰ふ爲に参つたわけではない此れなる美人から一杯申し受ける、何だ貴様は狸が胡

娘『町家のものでございます』

松『定めし大家の令嬢であらうと』

云ひながらデツと見るが若い女は黄八丈の袴小袖に黒縞子の帯をしめ髪は文金の高島田房々を錦紗を掛け花簪をさしてゐる、その可愛らしいこと、その姉の方は藍色鼠縮緬の小袖に原板の帯をしめ髪は丸髻に取上げてはゐるが、まだ定る夫もないと見え鐵樂もつけず眉もおとさぬ、昔は亭主を持つた印に齒を染めて髪は勝山に取上げるそれですから一目して所有主のあることがわかる、殊に髪には笄をさしたものが多く、あれは門の代用ださうで髪へ笄をズーツとさし込め亭主の外入るべからずと堅くどさして置く、今はそんな事はない、白い齒を染るは不自然、生える眉を落すもよろしくない何十歳になつても昔のやうな扮装はいたしません、それで主があらかないかわからない、江戸時代は規則正しく舊習を守つてゐた、さてこの二人の女が愛嬌を見せて酒をすゝめる、それが爲に松崎も渡邊も大酔酩そこへ馬丁が馬をひいて來まして



麻汁をたべたやうな顔色をして居る』

老『ひどいことをおつしやる、わたくしだとして若い時がございました、其時は玉子のやうにきれいでしたその玉子がかへつた時に妙な人間になりました』

とニコリ笑つたがその愛嬌のあること、水のたれるやう

松『見れば見るほど美しいナ、あなた方は一體何處にをられるか、武家とも見えぬが』

金『待て、この美人の酌で一盃過ぎて立ち戻る』

金『待て、この美人の酌で一盃過ぎて立ち戻る』

科外 科婦人
院醫坂井
町田町平
香九五五話電

中村齒科醫院
平町鍛冶町七

木村外科醫院
平町五丁目橋際
電話三〇九番

阿康藥舖
靈藥ムテキ
たんばあめ
レメドール
宮温湯

御贈答品
産名城磐
魚問屋
店理代平命生日本大最優最
榮盛電賀目丁四平
番三一電目丁四平